



平成29年3月1日
白鳥保育園
看護師

たくさんの思い出いっぱいとなった1年も締めくくりの時期となりました。4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子どもたち。4月から新たな気持ちでスタートを切れるように、今から生活習慣をしっかりと見直しましょう。



3月3日は耳の日です。ちょっとした不注意が、中耳炎・外耳炎の原因になることもあります。日頃から気をつけましょう。

●外耳炎●



原因 耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿疹ができた状態。耳垢や耳かきのしすぎが原因になることもある。

症状 湿疹ができるとかゆい、耳を触ると痛い、発熱やうみが出ることもある。

治療 抗生物質の点耳薬や内服薬を使うと、1週間程度で治まる。

ポイント 外耳炎になったら耳かきは控えて耳をむやみに触らないようにしましょう。

●急性中耳炎●



原因 かぜが原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態。

症状 激しい耳の痛みと、発熱。一時的な難聴・閉そく感がある。耳だれが出ることもある。

治療 化膿していなければ、抗生物質の服用で、ほぼ治まる。

ポイント 繰り返し中耳炎を起こすと、滲出性中耳炎になりやすいので、きちんと治しましょう。

●滲出性中耳炎●

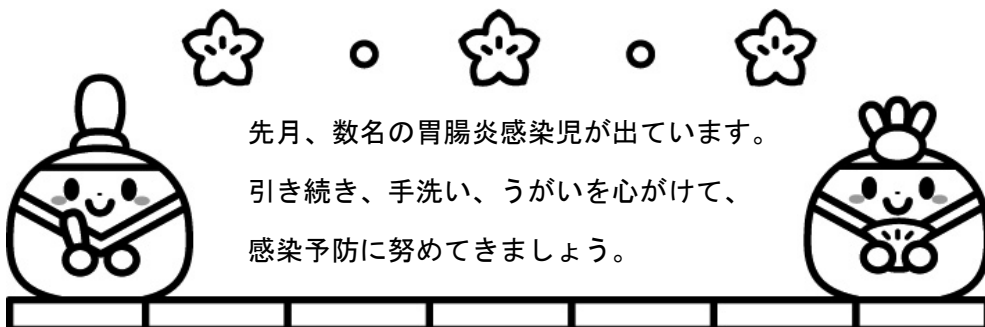


原因 中耳内に分泌液がたまった状態。風邪や、急性中耳炎の繰り返しが原因で起こる。

症状 痛みや熱はないが、耳が聞こえにくくなったり、閉そく感・耳鳴りがある。

治療 必要に応じて鼓膜を切開し、たまった涙を抜いて様子を見る。分泌液が吸収されて、自然に治ることも多い。

ポイント 外耳炎になったら耳かきは控えて耳をむやみに触らないようにしましょう。



先月、数名の胃腸炎感染児が出ています。引き続き、手洗い、うがいを心がけて、感染予防に努めてきましょう。